

グループによる事例検討について

【趣 旨】

- ①参加者がより良い支援をするため、他の相談支援専門員の取り組みを知る機会を設ける。
- ②参加者が日々の業務を振り返り、頭の整理や心の整理をすることを助ける。
- ③参加者一人ひとりが相談支援専門員としての学びを深める。

【ポイント】

- ①「事例」に焦点を当てるだけでなく、事例報告者の「困りごと」にも目を向ける。
 - ・事例報告者は「何を気にしているのか?」「それは何故か?」など
- ②グループによる事例検討を行うことで、自己点検を行うとともに、新たな視点や気づきを得るなど、関係性構築やインテーク、アセスメントについて学びを深める。
 - ・選定事例は、相談支援専門員がアセスメントを整理したが迷いや疑問があり、他人に意見を求めたいケースとする。事例を報告する際は選定した理由についても説明する。
 - ・相談支援専門員として日々の実践に関する報告をする場として活用し、他の相談支援専門員から意見を得る機会とする。

【その他】

①事前準備

報告事例について、下記の書類を手元に用意する。

- ・様式 2、3 アセスメント票（訪問票兼生活支援アセスメント票）
- ・様式 8 サービス等利用計画・障害児支援利用計画
- ・様式 11 モニタリング報告書

②参加にあたって

- ・主体的に参加する。
- ・事例検討の進め方に添って実施する。
- ・グラドルールを守る。（別紙参照）
- ・個人情報取り扱いには注意をする。